

東北の林木育種

NO.85 1980. 5

新任ごあいさつ

東北林木育種場長 桑 川 昭 夫



このたび4月7日付で東北林木育種場長を命ぜられました。当地はもとより東北各地を含めても勤務は初めてであり、しかも育種事業についての知識・経験に乏しい身でございますが、皆様方の御指導、御協力によりまして、東北の林木育種の進展に努めて参りたいと考えておりますので木村前場長同様によりしくお願い申し上げます。

着任以来各地の関係機関の皆様方とお逢いし、あるいは現場に接する機会を得ましたが、育種事業開始以来の20年の歳月と、育種という長期の目標に対して民有林・国有林を通じて組織的展開に踏み切った当時の指導者の慧眼と決断と、更にこれを引きついで今日まで築き上げてこられた方々の熱意と御努力に深い敬意を感じその責務の大きさを痛感いたしました。

この間内外の社会経済の変動はめざましいものがあり、これに伴って森林と林業に対する国民の要請も多様化する中で、林業基本法の制定、新たな林業種苗法の発足、数次にわたる森林法の改正をはじめ、諸法令の改正、諸施策の実施等々、林業をめぐる情勢はさまざまな移り変りを経ております。林木育種事業におきましても、量的生産を目標とした精英樹の選抜から、抵抗性育種へ、さらに対象樹種の拡大へと時代の要請に対応した展開が図られているところです。

この様な背景のもとで、昭和53年度から国立林木育種場の再編整備が進められて来たところであ

りますが、本年4月を以って東北林木育種場及び奥羽支場に育種研究室の設置、一般会計への移行が実施されました。これについては、困難な問題ではありますが円滑に整備・移替が行われましたことに、林野庁はじめ営林局署及び職員各位の御理解、御努力に対し感謝申し上げます。

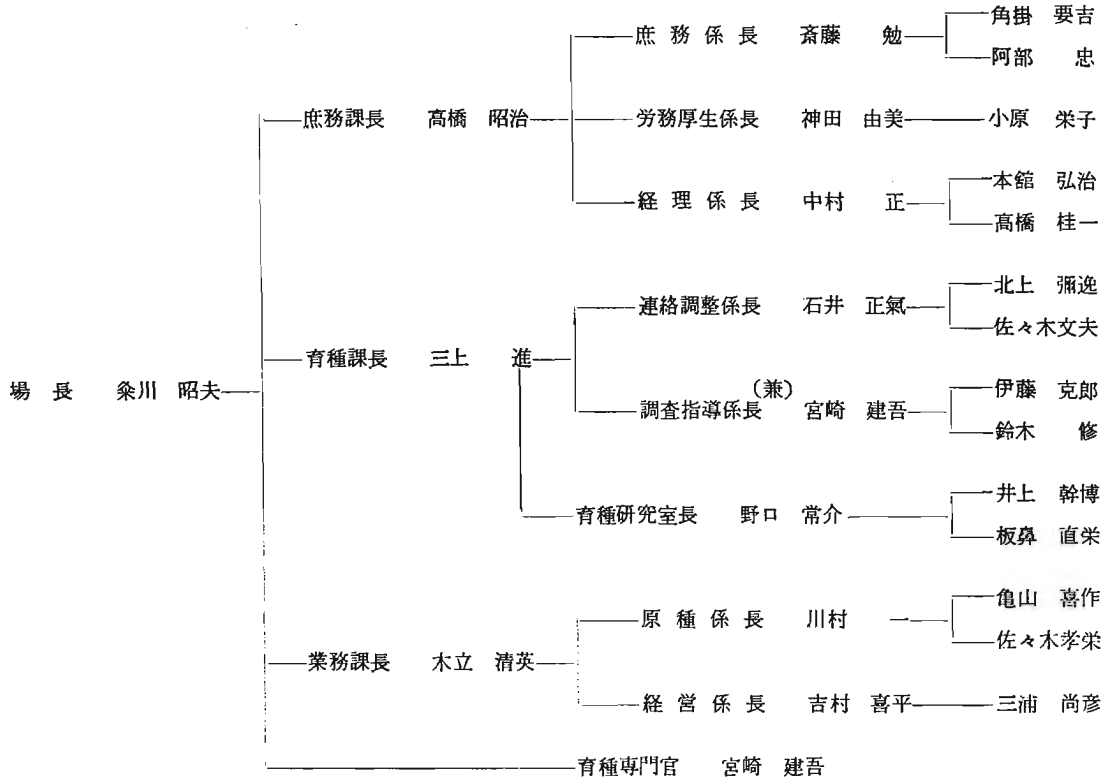
ここに林木育種場は第一段階といえる20年を経て、第二段階へと装いも新たに、基本区の育種センターとしての位置づけのもとにスタートしたわけであり、関係者の御支援により育くまれ、期待に応える様努めて参りたい所存であります。

これから育種事業を進めるに当り、重要なことは育種目標に対応した育種技術・手法の開発研究は勿論、成育に長期を要する林木の育種という性格から、多くのテストの積み重ね、永年にわたる調査観察といった地味な努力が必要と考えます。そのため、各試験研究機関、行政機関、事業実施機関等との従来にも増した密接な連繋と、それから齎られる情報の整理・保存・分析と、結果の適確な普及といった三点がポイントといえます。さらにこれらを円滑にするには、東北という共通の地理的、自然的条件のもとで共通の特性に着目し、地域に根ざした方法、地域の一体感を醸し出したいものです。

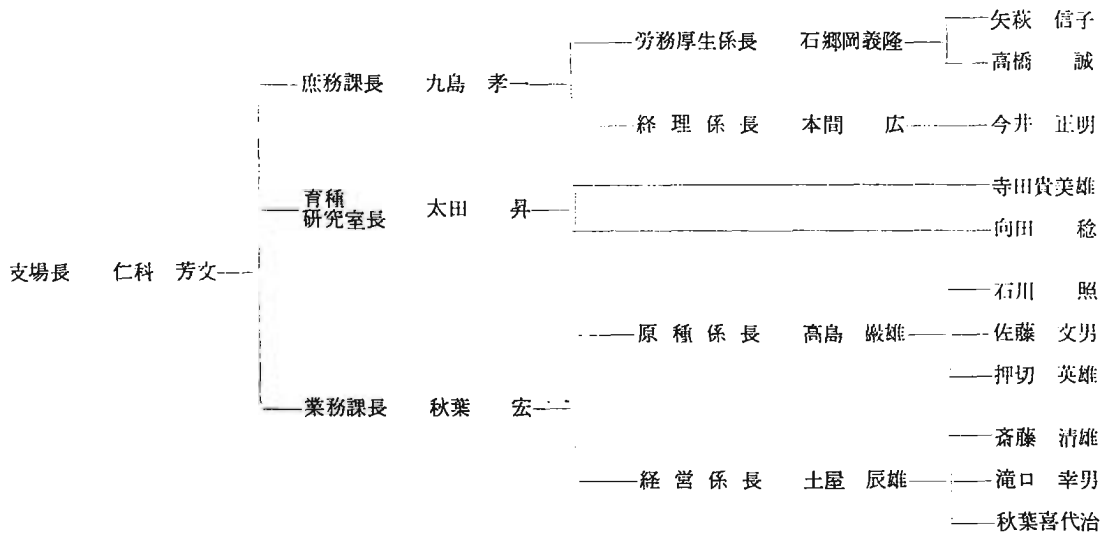
勿論これからの育種事業の道は決して平坦なものでなく遠くかつ峻しいものがあります。目標を違わず、たゆまぬ努力を続けてゆくことが育種担当者の使命といえます。森林資源造成の根幹となる林木育種への自負と技術に支えられた自信とを基調としてお互いに協調・研鑽してよりよき成果を収めたいものです。関係各位の御理解、御協力を切に望み新任の御挨拶を申し上げます。

◎東北林木育種場の組織と担当職員（昭和55.4.7現在）

◇東北林木育種場本場 <Tel 0196 (88) 4517>



◇ 奥羽支場 <Tel 02374 (7) 0219 (7) 0220 支場長室 >



東北育種基本区 国有林民有林関係組織と担当者名簿 (昭和55年4月1日現在)

青森営林局：青森市柳川2-1-1 (〒030), Tel 0177 (81) 2111

経営部長(亘 信夫) — 造林課長(荒木武夫, 内線 211) — 課長補佐(田村正晃, 内線 281) — 種苗係長(柴田三郎, 内線 284) — (松館 敬)

なお、青森営林局にはスギほか4樹種の採種園22か所、スギ採穂園6か所が造成されており、これら採種・穂園の管理施業はこれらが所在する営林署の経営課、造林係(種苗係)が担当し、種苗事業所(担当区事務所)で実施している。

採種・穂園が所在する営林署は、蟹田・今別・増川・中里・金木・大間・乙供・三戸・久慈・盛岡・雫石・花巻・水沢・川井・遠野・大船渡・気仙沼・古川・仙台および白石の20署である。



青森県：青森市長嶋1-1-1 (〒030), Tel 0177 (22) 1111

農林部長(青木敏也) — 次長(田中秀三) — 林政課長(川合 昭, 内線3285) — 造林班長(三上 昇, 内線3295) — 林業専門技術員(上山 明)

林業試験場：東津軽郡平内町大字小湊字新道46-56 (〒039-33), Tel 01775 (5) 3257

場長(川口英志) — 次長(岩田 昭) — 研究管理員(若原寿明・赤坂正一) — 造林科長(赤坂正一) — (辻村 章・兼平文憲)

同十和田支場：十和田市大字相坂字高清水387 (〒034), Tel 01762 (3) 3055

支場長(高見繁治) — 主任研究員(石田 実・越後助七)



岩手県：盛岡市内丸10-1 (〒020), Tel 0196 (51) 3111

林業水産部長(佐々木益人) — 次長(田代太志) — 林業課長(菊池助太郎, 内線2381) — 課長補佐(伊藤 実, 内線2387) — 造林種苗係長(新山 陞) — (釜沢政紀)

林木育種場：江刺市稲瀬字瀬谷子 (〒023-11), Tel 01973 (5) 4529・(5) 3346

場長(浅沼昭典) — 次長(昆野俊弘) — 主任(達下幸七) — (柏 実・高橋良明・舟越日出夫・及川英治・千葉昭二)



宮城県：仙台市本町3-8-1 (〒980), Tel 0222 (63) 2111

水産林業部長(大友育造) — 次長(小林基八) — 森林造成課長(湯田実行, 内線 830) — 造林係長(千葉 仁, 内線 832) — (芳賀俊郎)

林業試験場：黒川郡大衡村字柵木14 (〒981-36), Tel 02234 (5) 2816・(5) 4171

場長(川上徳光) — 育種部長(佐々木信男) — 育種科長(加藤悟郎) — (遠藤正勝・田畑正紀・瀬江一男)



秋田営林局：秋田市中通5-9-16 (〒010), Tel 0188 (33) 4261

経営部長(虹川公大) — 造林課長(関 和彦, 内線 210) — 課長補佐(岩谷良司) — 種苗係長(大野貞雄, 内線 276) — (諸井忠明・高橋小三郎)

なお、秋田営林局にはスギおよびアカマツの採種園11か所、スギ採穂園12か所が造成されており、これら採種・穂園の管理施業はこれらが所在する営林署の経営課、造林係(種苗係)が担当し、種苗事業所(担当区事務所)で実施している。

採種・穂園が所在する営林署は、十和田・花輪・大館・早口・鷹巣・ニッ井・能代・五城目・秋田・角館・大曲・増田・本荘・新庄・真室川・向町・村山および山形の18署である。



秋田県：秋田市山王4-1-1 (〒010), Tel 0188 (60) 1621

林務部長(能勢誠夫) — 次長(高山 正) — 林政課長(木谷修三, Tel (60) 1637) — 参事(大里正夫) — 技監(高橋正三) —

造林担当主査(橋野清蔵, Tel (60) 1635) — (大坂金康・利部敦男・小林博人・阿部雅弘)
林業センター：河辺郡雄和町椿川字奥椿台193 (〒010-12), Tel 01888 (2) 2027

所長（宮腰新市郎） — 参事（野呂田幸祐） — 育種部長（筒井吉金，内線31） — 原種科長（川村 侃，内線32） — （小田島一郎・阿部 功），種苗科長（石川重雄，内線32） — （原田 実・大井牧夫）

山形県：山形市松波 2—8—1（〒990），Tel 0236（30）2527

農林水産部長（沢内公男） — 次長（会田一夫） — 林業課長（長嶋東一郎，Tel（30）2533） — 課長補佐（鈴木佑一） — 環境緑化主査（佐々木恵治） — 林業専門技術員（原田章彦）

林木育種場：東田川郡羽黒町大字手向字院主南 1（〒997-02），Tel 023562-2157，2158 場長（矢作一雄） — 次長（石向締吉） — 育種係長（荒井正美），種苗緑化係長（加藤益之助） — （保科忠雄）

前橋営林局：前橋市岩神町 4—16—25（〒371），Tel 0272（31）0611

経営部長（真木 薫） — 造林課長（高橋邦夫，内線 320） — 課長補佐（枝川蓮也） — 種苗係長（佐藤善光，内線323） — （根岸伊勢雄）

なお、前橋営林局の育種事業は新潟県下の国有林の分が当基本区に属し、ここにスギおよびアカマツの採種園 3 か所、スギ採種園 3 か所がある。これら採種・穂園の管理施業はこれらが所在する営林署の経営課・造林係（種苗係）で担当し、種苗事業所で実施している。

採種・穂園の所在する営林署は村上・新発田・村松・六日町および高田の 5 署である。

新潟県：新潟市学校町 1—602（〒951），Tel 0252（23）5511

農林水産部長（厚地 武） — 治山課長（山本幸保，内線3367） — 副参事（田中公喜，内線3373） — 緑化係（皆川紀夫）

林業試験場：岩船郡朝日村大字鶴渡路（〒958），Tel 02547（2）1171

場長（米山定雄） — 造林課長（松田氏淑） — （本間英樹・伊藤信治）

なお、新潟県にはスギおよびアカマツの採種園 7 か所、スギ採種園 7 か所が造成されており、これら採種・穂園の管理施業はこれらが所在する林業事務所の経営普及課・経営係で担当している。

採種・穂園が所在する林業事務所は、村上・新潟・長岡・小千谷・上越・津川・糸魚川および相川の 7 所である。

人事異動のお知らせ

あ と が き

（55・4・1）

命 東北林木育種場育種課

熊本局計画課 板鼻 直栄

（55・4・7）

命 東北林木育種場場長

長野局経営部長 桑川 昭夫

命 林野庁監査課監査官

場 長 木村 英壽

命 東北林木育種場育種専門官

青森局大鰐営林署経営課付 宮崎 建吾

命 青森局出向（白石営林署）

業務課原種係長 小室喜久夫

命 東北林木育種場育種課

帯広支局計画課 井上 幹博

命 東北林木育種場奥羽支場業務課長

秋田局山形営林署付 秋葉 宏

命 秋田局出向（真室川営林署経営係長）

奥羽支場業務課経営係長 高橋清太郎

東北地方にも、ようやく桜前線が北上し、各地で盛んに観桜会が催されているこの頃、新年度版をお届けします。

本業号は、育種部門に関連する組織と担当者の顔ぶれを載せましたので、御利用されることをお願いいたします。なお、当场及び支場の内部異動は、割愛させていただきました。

次回からは前回に引き続いて、基本区内シリーズを掲載いたします。

昭和55年5月1日発行

編 集 東 北 林 木 育 種 場

岩 手 県 岩 手 郡 滝 沢 村 滝 沢

T E L 0196(滝沢駅前局)88-4517(代)

印刷所 杜 陵 印 刷